

内容と解説

EXERCISES I

Student Book 64～65ページのイラストを使って練習

1. ex. これ ①それ ②あれ

◆L2では、「これ」のみを学習しましたが、この課では、「これ」「それ」「あれ」をまとめて学びます。教室ではおはじきなど同じ物を3つ用意して、話者の近く、相手の近く、両者から離れたところ、3箇所に置き、導入するとわかりやすいでしょう。(この練習には、具体的な名称がわからない実物が適当です。)

2. ex. これは ノートです。 ①それ、いす ②あれ、とけい3. ex. バードくん : これは ノートですか。 たなかせんせい: はい、ノートです。

①それ、いす ②あれ、とけい

4. ex. バードくん : これは ほんですか。 たなかせんせい: いいえ、ほんではありません。バードくん : なんですか。 たなかせんせい: ノートです。

①それ、つくえ、いす ②あれ、ちず、とけい

◆「これ」「それ」「あれ」が理解できたら、テキストの図で位置関係を確認しながら、2.～4. までの吹き出し付きのイラストで、肯定文、否定文の文作りをし、教室内の実物(L2の既習単語中心)を使って、練習量を増やし、生きた練習をしてください。

◆「これ/それ/あれは何ですか」と生徒に聞かせ、Tの答えをディクテーションさせれば、語彙も増やせます。

EXERCISES II

Student Book 66ページのイラストを使って練習

ex. これを ください。 ①それ ②あれ

◆買い物に必要な表現を準備していきます。テキストのように、具体的な名称のわからない物体などがあれば用意して、「～を ください」の意味は手振りで示し、「これ/それ/あれを ください」とひとりが言い、ひとりが指示された物を実際に渡し、位置関係の認識を確かめながら練習するとよいでしょう。

◆物を受け渡すときに、「はい、どうぞ」と言わせて、表現練習も兼ねます。

1. a. ex. みず ①おちゃ ②レシートb. ex. えんぴつ ①ボールペン ②けしゴム ③かみ2. a. ex. みずを ください。 ①おちゃ ②レシートb. ex. えんぴつを ください。 ①ボールペン ②けしゴム ③かみ

◆2. で新しい語彙をいくつか紹介し、3. のようにひとりが「N(具体的な名詞)を ください」と言い、ひとりがその物を渡し練習をします。できれば実物を用意します。1枚ずつの絵カードでも練習できます。

EXERCISES III

Student Book 68~70ページのイラストを使って練習

1. a. ex. ひやくえん

- ①にひやくえん ②さんびやくえん ③よんひやくえん ④ごひやくえん ⑤ろっぴやくえん
⑥ななひやくえん ⑦はっぴやくえん ⑧きゅうひやくえん ⑨せんえん

◆実物が見えるようなら、硬貨／あるいは模型を使って練習します。

b. ex. にひやくろくじゅうえん

- ①よんひやくにじゅうえん ②ごひやくよんじゅうえん ③ろっぴやくはちじゅうえん
④はっぴやくきゅうじゅうえん ⑤きゅうひやくにじゅうななえん ⑥せんろっぴやくえん
⑦せんななひやくさんじゅうえん

◆値段の言い方を導入します。a. では、百円から千円までを紹介、b. では端数のある値段の言い方を練習します。値段のフラッシュカードを用意すると便利です。

◆実際のスーパーのちらしを使って練習しても効果的です。

2. ex. A: トマトは いくらですか。 B: 350えんです。

- ① バナナ、210えん ②みかん、159えん ③りんご、185えん
④チョコレート、230えん ⑤ケーキ、1,490えん

◆「いくらですか」を導入し、物の値段のQAを練習します。(ここで使う語彙は、巻頭のSound & Rhythmで練習したものです。) ペア練習ですが、ここでは、インフォメーションギャップをつくるため、あみだくじを利用していますが、実際のスーパーのちらしなどに手を加えて、練習するのもいいです。2枚同じ物を用意し、下記のようにインフォメーションギャップをつくっての練習もできます。



EXERCISES IV

Student Book 70ページのイラストを使って練習

ex. これは えんぴつです。

これも えんぴつです。

これは けしゴムです。

①みず、みず、おちゃ ②ノート、ノート、ほん

◆助詞「も」の使い方を導入します。テキストの図では同種の物が2つ並び、次に異種の物が来ますが、絵カードや実物を用意して、配列を変えながら続けると練習量も増え、理解も確認しやすく、楽しくできます。たとえば、「りんご、りんご、みかん、りんご、みかん、みかん、りんご、みかん、りんご」のように配列して、「は」と「も」を適切に使い分けて文作りができるまで延々と続けるという方法です。

JAPAN NEWS

英文によるコラムはStudent Book 74ページ

日本の通貨を紹介しています。

⇒ [日本と世界の文化・情報 L6【1】日本と世界の通貨とレート](#)

MAIN DIALOGUE

会話本文はStudent Book 72ページ/73ページのイラストで練習

◆バード君が文房具屋に行きますが、scissors は日本語で何と言うか知らないで、「これ・それ・あれ」をうまく使って買い物をする場面です。

◆L6からは、本文にローマ字の補助がありません。かなによる読解の力をつけていきます。

◆内容をアレンジしながら、実物を使い、教卓などをはさんで、ペアでロールプレイをします。

◆「見せてください」の導入には、次のような方法があります。

- ①教師が生徒の持ち物などを「なんですか」「みせてください」と言いながら見せてもらったり、例えば、教師が万華鏡や写真をひとりで「ああ、きれい」と言いながら見入る等の演技をしてもいいです。
- ②「みせてください」と生徒が言えたら、教師は「はい、どうぞ」と言って手渡します。
- ③生徒から生徒へ「みせてください」「はい、どうぞ」と言いながら、そのものを回していきます。

SHORT DIALOGUES

会話本文はStudent Book 74ページ

◆テキストのモデル会話を聞かせたり、読ませたりして、内容を確認した後、役割を決めて、発話練習をします。

1. 「Nをください」「Nもください」と「も」を活用した会話練習です。
2. 3. では、何について聞かれているかわからない場合の「どれ」を紹介、練習します。店の人や山本君の役になった生徒には、戸惑う様子などをさせて、臨場感を持って会話させます。

TASK 4

詳細はStudent Book 75ページ

まず、テキストのモデル会話を導入し、「ぜんぶで」の言い方も紹介します。

生徒はペアになり、お客さん役のBがイラストから好きな物を選んで買います。Aはシートをチェックして計算し、値段の合計を知らせます。同様に、実物とプライスシートとお金の見本を用意して行くと生きた練習になります。

JAPAN NEWS

英文によるコラムはStudent Book 74ページ

「おべんとう」を紹介しています。

⇒ [日本と世界の文化・情報 L6 【2】 おべんとう / 「えきべん」](#)

QUIZ

Student Book 76～78ページ

読み書きにより言語学習項目の知識を確認します。宿題や小テストにして、フィードバックします。